

2020年度『シラバス』訂正一覧

No.	訂正日	履修コード	時限	科目名	教員名	変更内容
1	2020/4/2	417621	木・2	グローバルイシューと国際公法	河井 苑子	<p>下記の参考書について、教科書に変更となりました。</p> <p>変更前：【参考書】④森川幸一他編著『国際法で世界がわかる - ニュースを読み解く32講』岩波書店（2016年）2,800円 ISBN 9784000229555 ⇒ 変更後：【教科書】森川幸一他編著『国際法で世界がわかる - ニュースを読み解く32講』岩波書店（2016年）2,800円 ISBN 9784000229555</p>
2	2020/4/3	088051	木・5	教育実習指導	伊藤 茂樹	<p>「履修上の留意点等」欄に変更がありました。</p> <p>変更前：「初回に授業の概要を説明するため、必ず出席すること。無断で欠席した者のこの授業の履修は認められない。やむを得ない理由で欠席する場合には、必ず事前に連絡をすること。 次年度の教育実習に向けた授業であるため、主体的・積極的に参加すること。授業の出席率が著しく低い場合：5回以上欠席した場合には、次年度の実習ができなくなることもあるので、十分に注意すること。なお、この授業は「国語科」の教員免許を取得する予定の学生を対象とする授業であり、他の教科の教員免許を取得する学生は対象外であるので、履修に際しては十分に注意すること。」 ⇒ 変更後：「初回に授業の概要を説明するため、必ず出席すること。無断で欠席した者のこの授業の履修は認められない。やむを得ない理由で欠席する場合には、必ず事前に連絡をすること。次年度の教育実習に向けた授業であるため、主体的・積極的に参加すること。授業の出席率が著しく低い場合：5回以上欠席した場合には、次年度の実習ができなくなることもあるので、十分に注意すること。」</p>
3	2020/4/6	128901	火・1	東アジア政治論	三船 恵美	<p>「成績評価の方法」欄に変更がありました。</p> <p>変更前： 50 % : 試験 30 % : 小テスト 20 % : レスポンスカードや筆記の小テストなど ※ 欠席学生にc-learningの追試は行いません。 ※ <del>単位修得には、原則として授業時間数の3分の2以上に出席している必要があります。</del> ⇒ 変更後： 80 % : 小テスト (c-learning) 20 % : レポート ※ レポートはオンラインで提出してもらいますので、YeStudyの掲示で提出要領を確認してください。</p>

2020年度『シラバス』訂正一覧

No.	訂正日	履修コード	時限	科目名	教員名	変更内容
4	2020/4/6	128101	水・4	国際関係論	三船 恵美	<p>「成績評価の方法」欄に変更がありました。</p> <p>変更前： 90 % : 試験 10 % : 小テスト</p> <p>※ 単位修得には、原則として授業時間数の3分の2以上に出席している必要があります。c-learning受験回数が3分の2未満の学生には単位を原則として認定しません。</p> <p>※ ICTによる小テストについては、授業内の指定時間内における受験のみを成績評価の対象にします。欠席者に代替課題を出すことはしません。講義への出席を前提にしています。</p> <p>※ 定期試験では直筆ノートのみ参照可。印刷物を貼り付けたノートの参照禁止。試験会場でのルーズリーフの参照は禁止（カンニング防止のため）。</p> <p>⇒</p> <p>変更後： 80 % : 小テスト (c-learning) 20 % : レポート</p> <p>※ c-learning受験回数が3分の2未満の学生には単位を原則として認定しません。</p> <p>※ レポートはオンラインで提出してもらいますので、YeStudyの掲示で提出要領を確認してください。</p>
5	2020/4/6	325401	水・6	国際関係論	三船 恵美	<p>「成績評価の方法」欄に変更がありました。</p> <p>変更前： 20 % : 試験 40 % : 小テスト 10 % : 平常点</p> <p>※ 単位修得には、原則として授業時間数の3分の2以上に出席している必要があります。c-learning受験回数が3分の2未満の学生には単位を原則として認定しません。欠席者に代替課題を出すことはしません。講義に出席することを前提にしています。</p> <p>※ 一部の学生に対してのみに「特別な対応」をとることはありません。受講生全員に「同じ条件」で成績をつけます。</p> <p>⇒</p> <p>変更後： 80 % : 小テスト (c-learning) 20 % : レポート</p> <p>※ c-learning受験回数が3分の2未満の学生には単位を原則として認定しません。</p> <p>※ 一部の学生に対してのみに「特別な対応」をとることはありません。受講生全員に「同じ条件」で成績をつけます。</p> <p>※ レポートはオンラインで提出してもらいますので、YeStudyの掲示で提出要領を確認してください。</p>

2020年度『シラバス』訂正一覧

No.	訂正日	履修コード	時限	科目名	教員名	変更内容
6	2020/4/30	087931 087932	火・6	介護等体験指導 特別支援教育	黒住 早紀子	<p>「履修上の留意点等」欄に変更がありました。</p> <p>変更前： 初回に授業の概要を説明するため、必ず出席すること。無断で欠席した者のこの授業の履修は認めない。やむを得ない理由で欠席する場合には、必ず事前に連絡をすること。体験を伴う授業であるため、主体的・積極的に参加すること。授業の出席率が著しく低い場合：6月末までに4回以上欠席した場合、また、事務手続きに関して著しく問題がある場合には、体験中止になることもあるので、十分に注意すること。なお、この授業は「国語科」の教員免許を取得する予定の学生を対象とする授業であり、他の教科の教員免許を取得する学生は対象外であるので、履修に際しては十分に注意すること。</p> <p>⇒</p> <p>変更後： 初回に授業の概要を説明するため、必ず出席すること。無断で欠席した者のこの授業の履修は認めない。やむを得ない理由で欠席する場合には、必ず事前に連絡をすること。体験を伴う授業であるため、主体的・積極的に参加すること。授業の出席率が著しく低い場合：6月末までに4回以上欠席した場合、また、事務手続きに関して著しく問題がある場合には、体験中止になることもあるので、十分に注意すること。</p>
7	2020/5/7	353701 353731	火・6	スペイン語ⅡA a スペイン語ⅡA b	笛田 千容	<p>大岩 功先生が退職することに伴い、 「主担当教員氏名(カナ)」欄に変更があります。</p> <p>変更前：大岩 功 (オオイワ イサオ) ⇒ 変更後：<b>笛田 千容 (フエタ チヒロ)</b></p>
8	2020/5/7	353401 353431	火・7	スペイン語ⅠA a スペイン語ⅠA b	齊藤 明美	<p>大岩 功先生が退職することに伴い、 「主担当教員氏名(カナ)」欄に変更があります。</p> <p>変更前：大岩 功 (オオイワ イサオ) ⇒ 変更後：<b>齊藤 明美 (サイトウ アケミ)</b></p>
9	2020/5/7	240661 242261 256051 257651	水・1 水・2	英語ⅠB a 英語ⅠB b 英語ⅡB a 英語ⅡB b	古溝 裕佳里	<p>海琳 泰子先生が退職することに伴い、 「主担当教員氏名(カナ)」欄に変更があります。</p> <p>変更前：海琳 泰子 (ミタマ ヤスコ) ⇒ 変更後：<b>古溝 裕佳里 (コミゾ ユカリ)</b></p>

## 2020年度『シラバス』訂正一覧

No.	訂正日	履修コード	時限	科目名	教員名	変更内容
10	2020/5/7	251861 251881	水・3	英語Ⅱ A a 英語Ⅱ A b	永澤 香恵子	海琳 泰子先生が退職することに伴い、 「主担当教員氏名(カナ)」欄に変更があります。 変更前：海琳 泰子 (ミタマ ヤスコ) ⇒ 変更後：永澤 香恵子 (ナガサワ カエコ)
11	2020/5/7	223801	水・5	コンピュータ基礎	小沢 誠	齋藤 実穂先生が退職することに伴い、 「主担当教員氏名(カナ)」欄に変更があります。 変更前：齋藤 実穂 (サイトウ ミホ) ⇒ 変更後：小沢 誠 (オザワ マコト)
12	2020/5/7	224301 345901 224701	水・5 水・6 集中	コンピュータ基礎	大槻 涼	齋藤 実穂先生が退職することに伴い、 「主担当教員氏名(カナ)」欄に変更があります。 変更前：齋藤 実穂 (サイトウ ミホ) ⇒ 変更後：大槻 涼 (オオツキ リョウ)
13	2020/5/7	345801	水・6	コンピュータ基礎	高橋 博之	齋藤 実穂先生が退職することに伴い、 「主担当教員氏名(カナ)」欄に変更があります。 変更前：齋藤 実穂 (サイトウ ミホ) ⇒ 変更後：高橋 博之 (タカハシ ヒロユキ)
14	2020/5/19	05400 05540 75110 82339	水・1 水・3 特・6 水・5	日本史学演習Ⅰ 日本史学演習Ⅱ 卒業論文 日本史学特講Ⅹ【講義】	平野 明夫	大久保 俊昭先生が退職することに伴い、 「主担当教員氏名(カナ)」欄に変更があります。 変更前：大久保 俊昭 (オオクボ トシアキ) ⇒ 変更後：平野 明夫 (ヒラノ アキオ)

## 【注意事項】

- ・KONECOシラバス照会データは本内容へは更新されません。本訂正内容が最新情報ですのでご注意ください。
- ・掲載されている授業は、所属学部学科等によっては開設されていない場合があります。

※訂正があった項目の文言が赤字となっています。

コマコード/代表科目名称	058261 / 社会参加実習	
開講年度・期	2020年度	通年
担当教員氏名(カナ)	李 妍焱	リ ヤンヤン

授業概要	<p>社会参加実習のキーワードは「参加」と「実習」である。実際に社会問題が起きている現場、その問題に取り組む実践の現場に身を置き、参加することによって実践的に学習することがこの授業の本来の目的である。しかし、新型コロナウイルスの感染拡大を受けて、今年度は現場に身を置くことが困難と予想されることから、実習の場をオンライン上に設定し、オンライン取材とその成果の整理と報告を中心的な内容とする。</p> <p>具体的には、受講生に魅力的な社会参加の活動をデザイン・実施している団体や個人を推薦する。同時に受講生自身もそのような団体や個人について検索し、選定の範囲を広げる。その上で、受講生が自分の取材したい対象のリストを作る。下調べをした上で、取材を申し込み、オンラインのツールを使い取材を行う。取材の過程や成果をメンバー同士で報告し共有しながら進めていき、最終的には報告書にまとめる。この一連の学びのプロセスを学生主体の方法で経験して行く。</p> <p>履修に際しては、「自分を高めたい」という強い意欲と積極的なコミットメントを要求する。特に新入生の履修を歓迎する。</p>
------	---

到達目標(ねらい)	<p>参加型実践学習を通して、2つの目標を達成したい。1つは、特定の社会問題に関する理解を深めてもらうこと、もう一つの目標はより重要であり、それは受講生に、参加したい現場(今年度は取材したい対象者)を自ら選んでもらい、いかなる問題意識を抱いて参加する(取材する)のかについて考えてもらい、緻密な準備作業を行ってもらい、実際に行動し、さらに成果をまとめてもらうという一連のプロセスをすべて経験してもらうことである。</p> <p>本実習は社会学専攻のDP2,3,4に大きく貢献する科目である。本科目を丁寧かつ積極的に履修すれば、受講生は自らの問題発見能力、情報検索力、判断力と理解力、行動力、コミュニケーション能力、表現力など各種実践能力の向上が期待できる。</p>
-----------	--

授業スケジュール	第1回	授業の計画・内容	オンライン準備学習: ガイダンス フォーラムに投稿された授業のシラバス(改訂版)を確認し、この授業を通して特に達成したい自分の目標、高めたい能力、活かしたい自分らしさなど、全員から一言ずつコメントを書き込んでください。	
		準備学習(予習・復習等)	シラバスの改訂版を丁寧に確認し、フォーラムに投稿する。他のメンバーの投稿も確認する。	40 分
	第2回	授業の計画・内容	オンライン準備学習: 取材をしてみたい「分野」について考える。様々な社会問題の分野があり、社会的なつながりを作る現場がある。自分はどんな分野に興味があるのか、どんな分野の現場の方々に話を聞いてみたいのか、フォーラムに投稿する(複数の分野を投稿してもかまわない)。	
		準備学習(予習・復習等)	取材したい分野について検索し、フォーラムに投稿する。他のメンバーの投稿も確認する。	60 分
	第3回 ~ 第4回	授業の計画・内容	取材したい分野において、具体的にリストアップできそうな団体や個人について検索してみる。(オンラインで実施、第3回と第4回の2週間分) いくつかの候補を挙げて、フォーラムに投稿し共有する。 教員からも候補となりうる団体や個人を推薦しておく。	
		準備学習(予習・復習等)	検索作業と、候補を整理し紹介し、フォーラムに投稿する作業。	120 分
	第5回	授業の計画・内容	「社会参加」の現場を学ぶ 外部講師1: 地域とのつながり方について、子どもたちや若者たちの社会参加のあり方について、NPO法人グリーンウッド自然体験センターのスタッフさんに語っていただく(オンライン視聴)	
		準備学習(予習・復習等)	事前に外部講師の関連情報などネット上で情報検索し、終了後は学びとなった点をフォーラムに投稿する。	60 分
	第6回	授業の計画・内容	「社会参加」の現場を学ぶ 外部講師2: 参加をデザインする。コミュニケーションをデザインする。おおきな木プロジェクトの加藤未礼さんに語っていただく(オンライン視聴)	
		準備学習(予習・復習等)	事前に外部講師の関連情報などネット上で情報検索し、終了後は学びとなった点をフォーラムに投稿する。	60 分

第7回	授業の計画・内容	「社会参加」の現場を学ぶ 外部講師3:協同組合という働き方とつながり方について、志波早苗さんに語っていただく(オンライン視聴)。 協同組合関係で、オンライン取材活動を中心とするインターンシップを実施する可能性があり、その参加者募集も兼ねる。	
	準備学習 (予習・復習等)	事前に外部講師の関連情報などネット上で情報検索し、終了後は学びとなった点をフォーラムに投稿する。	60分
第8回 ～ 第9回	授業の計画・内容	「社会参加」の現場、最前線の方々の語りから、社会参加のあり方、おもしろさ、意義、課題について考える(オンラインで実施、2週間分の作業)。 討論用のフォーラムを設置し、テーマ別に投稿によって討論を展開していく。	
	準備学習 (予習・復習等)	それぞれが発言の準備をし、発言を整理して投稿する。他のメンバーの発言に対してコメントをつけていく。	120分
第10回 ～ 第11回	授業の計画・内容	現場の方々からの話からヒントを得て、最終的に自分が取材をしたい現場(特定のグループや個人)を絞る。絞った取材対象者について、要求に従って、やや詳細な紹介をするための発表の用意をする(2週間分の作業)。	
	準備学習 (予習・復習等)	それぞれがさらに情報検索を行い、取材対象を絞り、発表の準備を行う。	120分
第12回 ～ 第14回	授業の計画・内容	取材したい対象者に関する発表会 事前に発表方法を指示する。オンライン上で発表するか、もしくは対面での授業が可能な場合は、対面で発表会を実施する。(メンバーが順番に発表していき、合計3回分の授業を使う)。	
	準備学習 (予習・復習等)	3回とも、発表に関する自己評価と、他の発表者に対する評価を行う。改善点をまとめる。	120分
第15回	授業の計画・内容	夏休み中における取材作業に関する確認。取材の記録方法の指示。	
	準備学習 (予習・復習等)	記録ノートの作成を開始する。	60分
後期 第1回	授業の計画・内容	後期ガイダンス(オンラインもしくは対面)	
	準備学習 (予習・復習等)	記録ノートの整理	60分
後期 第2回 ～ 第3回	授業の計画・内容	取材活動中間発表の準備(2週間分の作業) 要求に従って、取材活動の中間発表を準備する。	
	準備学習 (予習・復習等)	中間発表の準備	120分
後期 第4回 ～ 第6回	授業の計画・内容	中間発表会 事前に発表方法を指示する。オンライン上で発表するか、もしくは対面での授業が可能な場合は、対面で発表会を実施する。(メンバーが順番に発表していき、合計3回分の授業を使う)。	
	準備学習 (予習・復習等)	3回とも、発表に関する自己評価と、他の発表者に対する評価を行う。改善点をまとめる。	120分
後期 第7回 ～ 第10回	授業の計画・内容	実習の終了に向けて、成果を整理する。 要求に従って、取材活動の成果の整理作業と最終成果の発表の準備を行う期間(4週間分の作業)	
	準備学習 (予習・復習等)	各自が実習を完了させていく。	60分

	後期 第11回 ～ 第15回	授業の計画・内容	最終成果発表会 事前に発表方法を指示する。オンライン上で発表するか、もしくは対面での授業が可能の場合は、対面で発表会を実施する。(メンバーが順番に発表していき、合計4回分の授業を使う)。 なお、終了後は、一年間行ったすべての発表の原稿を編集し、実習報告書を作成する予定。	
		準備学習 (予習・復習等)	4回とも、発表に関する自己評価と、他の発表者に対する評価を行う。最終評価の一部とする。	150 分
履修上の留意点等	<p>参加型実習には、参加の意欲および責任感を必要とする。また、オンライン上とはいえ(オンラインだからこそ)、取材活動の際には、人間関係における礼儀や倫理・道徳についても注意する必要がある。迷うことがある場合はいつでも教員に相談するようにしてください。</p> <p>教員は一人一人の実習状況をケアするため、ケアできる範囲の人数を超えて履修希望者がいる場合は、履修に際して選考を行うことがある。</p>			
成績評価の方法		試験		
	40%	レポート		
		小テスト		
	60%	平常点	レポートの評価には、実習報告書に含まれる事項が対象となる。平常点としては、取り組みの姿勢、各種発表やコメントが評価の対象となる。	
教科書/テキスト	特に指定しない。			
参考書	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 中野民夫、『みんなの楽しい修行ーより納得できる人生と社会のために』(春秋社, 2014, ISBN-10: 4393333381)</li> <li>2. 井善昭、『社会貢献でメシを食う』(ダイヤモンド社, 2010, ISBN-10: 4478014094)</li> <li>3. 暮 真久、『社会をよくしてお金も稼げるしくみのつくりかたーマッキンゼーでは 気づけなかった世界を動かすビジネスモデル「Winの累乗」』(ダイヤモンド社, 2012, ISBN-10: 4478020973)</li> <li>4. 早瀬昇、『参加の力』が創る共生社会ー市民の共感・主体性をどう醸成するか』(ミネルヴァ書房, 2018, ISBN-10: 4623083381)</li> </ol>			
学生による授業アンケート結果等による授業内容・方法の改善について	実習科目であるゆえ、授業評価アンケートは実施していないが、常に学生から授業内容に関するフィードバックをもらいながら進める予定である。			
関連リンク				
実務経験がある教員による授業科目	3回程度、NPOやコミュニティでの実践活動に携わる実務経験者を外部講師として招く 予定がある。			
アクティブラーニング型の授業科目	社会参加実習は、授業のすべてのステップと局面において、アクティブ・ラーニング の手法を用いて進める予定である			

※訂正があった項目の文言が赤字となっています。

コマコード/代表科目名称	058311	市民社会論
開講年度・期	2020年度	前期
担当教員氏名(カナ)	李 妍焱	リ ヤンヤン

【必須】 授業概要	<p>社会を動かすのは誰か。社会をどうデザインして作っていいのか。本講義は「市民の手で社会を創る必要性と創り方」をテーマに、市民個人ないし市民的組織とネットワークや緩やかなつながりによる各種自発的な社会的実践に注目する。</p> <p>講義形式は、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、オンラインのリソースやツールを多用する予定。グループ・ディスカッションはYestudyのフォーラムを使用し、実務経験者の外部講師によるゲスト出演もオンラインツールで実施可能にしていく。ほかにも資料の配付やフィードバック、小テストや課題提出などは、すべてE-learningシステムYestudyを用いた双方向で実施していく。</p> <p>履修に際して、Yestudy上にある各種学習アクティビティに締め切りの期日を守って、積極的に参加していただきたい。</p>		
【必須】 到達目標(ねらい)	<p>この授業は社会学の諸分野の一つである「市民社会」の領域に関する講義であり、体系的に社会学を学ぶ上では不可欠な科目である。さらに、社会に対する「主体的な問題意識」を育む上では、多くの示唆ときっかけが得られる科目でもある。具体的には、市民社会の方法論と実践について学ぶことによって、市民社会の論理を理解していくこと、日本における市民社会の展開の特徴と可能性について考えていくことを目的とする。社会学科および社会学専攻のDP2と強く関連し、DP3, 4, 5にも大きく寄与する。</p> <p>受講生はまず「市民社会とはなにか」「市民とはどんな存在か」の具体像を把握した上で、市民社会の理論的枠組みを学び、市民社会論における社会的アプローチの主要な議論を概観できるようになる。さらに市民が社会をデザインする方法を外部講師による具体的な実践例から学び、説明できるようになる。最後に理論と実践両方の学習を踏まえつつ、日本における市民社会の発展の特徴と可能性について考え、自らの問題意識に関連付けて議論できるようになる。</p>		
【必須】 授業スケジュール	第1回	授業の計画・内容	オンライン準備学習:「市民社会」に関するイメージの共有 参考URLなどの資料を見て、フォーラムにそれぞれが持っている「市民社会」に関するイメージを書き込む。
		準備学習(予習・復習等)	参考資料に目を通し、フォーラムに書き込む。そしてフォーラムに投稿された他のメンバーたちの書き込みを見て、コメントを入れる。 60分
	第2回	授業の計画・内容	オンライン準備学習:「市民社会」領域の範疇を把握しよう 「市民社会」の領域に入る組織や団体、ネットワーク、個人などどんな具体的なものがあるのか、把握しよう。 PPT講座をオンラインで受講し、フィードバックで理解度をチェックし、フォーラムにおいて自分にとって「意外」だった市民社会領域の存在について、または質問やコメントを書き込んでみよう。
		準備学習(予習・復習等)	PPT講座を視聴し、新たに学んだ点をノートに取る。質問やコメントを用意する。フォーラムでのやりとりを通して学びを深める。 60分
	第3回	授業の計画・内容	問題提起1:なぜ市民社会が重要か?(オンラインで実施) 世界の情勢と我々が生きる時代的背景の特徴を捉え、「市民」として存在し、「市民」として生きることの重要性を提起。 PPT講座を受講し、フィードバックで理解度をチェックする。 Yestudy上にあるフォーラムにおいて、自分にとって「市民社会」がどんな意味で重要だと理解しているのか、世界にとって、社会にとって、地域にとって、あなた自身にとってという複数の視点から意見交換をする。
		準備学習(予習・復習等)	PPT講座を視聴し、新たに学んだ点をノートに取る。質問やコメントを用意する。フォーラムでのやりとりを通して学びを深める。 60分



第4回	授業の計画・内容	問題提起1に関連して(オンラインで実施) 外部講師1:「市民」とは賢く声を出す人 「市民」として生きることの意味を理解するために、「市民」という存在の重要な側面を物語る実践者の方々から話を直接伺う(外部講師のお話はオンラインで視聴可能にする)。初回は「ちゃぶ台返し女子アクションの中村果南子さん」。「声を出す」という市民的行動について語っていただく。	
	準備学習 (予習・復習等)	事前に外部講師のプロフィールなどネット上で情報検索し、質問を用意しておく。終了後は学びとなった点をフォーラムに投稿する。	60 分
第5回	授業の計画・内容	問題提起1に関連して(オンラインで実施) 外部講師2:「市民」とは暮らし方や地域の価値を理解し活かせる人。NPO法人グリーンウッド自然体験センターの辻英之さんからお話をいただく(オンラインで視聴可能にする)。暮らしや地域の価値に帯する「市民」的な視線と実践について語っていただく。	
	準備学習 (予習・復習等)	事前に外部講師のプロフィールなどネット上で情報検索し、質問を用意しておく。終了後は学びとなった点をフォーラムに投稿する。	60 分
第6回	授業の計画・内容	問題提起1に関連して(オンラインで実施) 外部講師3:「市民」とは共感から行動へ移れる人。災害ボランティアと災害教育に長年携わってきた八木和美さんからお話をいただく(オンラインで視聴可能にする)。「共感」という市民的感觉(センス)と行動力の源を探る。	
	準備学習 (予習・復習等)	事前に外部講師のプロフィールなどネット上で情報検索し、質問を用意しておく。終了後は学びとなった点をフォーラムに投稿する。	60 分
第7回	授業の計画・内容	問題提起2: 市民社会を語るための理論的枠組みは？(オンライン実施可) 理論的枠組みを学ぶ1: 熟議民主主義論 参考資料となるPDFを読んでおく。PPT講座を受講し、フィードバックで理解度をチェックする。対面授業の場合は教室で、オンライン授業の場合はフォーラムにおいて学んだ点、疑問に感じた点、コメントなどを書き込む。	
	準備学習 (予習・復習等)	PDFを読み、PPT講座を視聴し、新たに学んだ点をノートに取る。質問やコメントを用意する。フォーラムでのやりとりを通して学びを深める。	60 分
第8回	授業の計画・内容	問題提起2に関連して(オンライン実施可) 理論的枠組みを学ぶ2: 社会運動論 参考資料となるPDFを読んでおく。PPT講座を受講し、フィードバックで理解度をチェックする。対面授業の場合は教室で、オンライン授業の場合はフォーラムにおいて学んだ点、疑問に感じた点、コメントなどを書き込む。	
	準備学習 (予習・復習等)	PDFを読み、PPT講座を視聴し、新たに学んだ点をノートに取る。質問やコメントを用意する。フォーラムでのやりとりを通して学びを深める。	60 分
第9回	授業の計画・内容	問題提起2に関連して(オンライン実施可) 理論的枠組みを学ぶ3: 非営利組織論 参考資料となるPDFを読んでおく。PPT講座を受講し、フィードバックで理解度をチェックする。対面授業の場合は教室で、オンライン授業の場合はフォーラムにおいて学んだ点、疑問に感じた点、コメントなどを書き込む。	
	準備学習 (予習・復習等)	PDFを読み、PPT講座を視聴し、新たに学んだ点をノートに取る。質問やコメントを用意する。フォーラムでのやりとりを通して学びを深める。	60 分

第10回	授業の計画・内容	問題提起2に関連して(オンライン実施可) 理論的枠組みを学ぶ4:ソーシャル・キャピタル論 参考資料となるPDFを読んでおく。PPT講座を受講し、フィードバックで理解度をチェックする。対面授業の場合は教室で、オンライン授業の場合はフォーラムにおいて学んだ点、疑問に感じた点、コメントなどを書き込む。	
	準備学習 (予習・復習等)	PDFを読み、PPT講座を視聴し、新たに学んだ点をノートに取る。質問やコメントを用意する。フォーラムでのやりとりを通して学びを深める。	60分
第11回	授業の計画・内容	問題提起3: 市民はどのように社会をデザインし実践するのか(オンライン実施可) 外部講師1: SDGsという目標に向けて 市民社会の重要性を、「市民」とはどのような存在なのかを理解することから把握し、市民社会を分析する為の理論的枠組みを学んだ上で、現在市民たちはどのような実践を行っているのか、3つの角度から、実践者の外部講師による語りから見ていく。初回は、世界規模で目標とされるSDGsに関連して、環境パートナーシップ会議の星野智子さんからお話をいただく(オンラインで視聴可能にする)。	
	準備学習 (予習・復習等)	事前に外部講師のプロフィールなどネット上で情報検索し、質問を用意しておく。終了後は学びとなった点をフォーラムに投稿する。	60分
第12回	授業の計画・内容	問題提起3に関連して(オンライン実施可) 外部講師2: ボランティアやNPO/NGOというアプローチ 2回目は世界における日本のボランティア活動やNPO/NGOの概要と特徴について、長年青少年ボランティア活動を推進してきた国立青少年教育振興機構の村上徹也さんからお話をいただく。	
	準備学習 (予習・復習等)	事前に外部講師のプロフィールなどネット上で情報検索し、質問を用意しておく。終了後は学びとなった点をフォーラムに投稿する。	60分
第13回	授業の計画・内容	問題提起3に関連して(オンライン実施可) 外部講師3: グローカリゼーション運動とコミュニティづくり 市民社会ならではの実践は、地域やコミュニティにおいて最も期待できる。クローカリゼーションとコミュニティづくりの現場から外部講師を招く予定。	
	準備学習 (予習・復習等)	事前に外部講師のプロフィールなどネット上で情報検索し、質問を用意しておく。終了後は学びとなった点をフォーラムに投稿する。	60分
第14回	授業の計画・内容	まとめ: 日本的市民社会の課題と可能性について考えよう(オンライン実施可) グループ討論を行う。対面で実施できない場合は、フォーラムを使ってグループ討論を行う(受講生全員の通信環境が可能なら、Webミーティング形式での実施も検討する)。	
	準備学習 (予習・復習等)	テーマについて、各自で事前に調べておき、それぞれの発言のポイントとそれをサポートするデータを用意しておく。	60分
第15回	授業の計画・内容	課題授業: 市民社会論の歴史的系譜について学ぼう PDF資料のレジュメを作成する課題。	
	準備学習 (予習・復習等)	課題の完成と提出	150分
履修上の留意点等	李の社会学専門演習の受講者で、まだこの授業を履修したことのない人は、合わせて履修したほうが望ましい。		
【必須】 成績評価の方法	試験		
	レポート		
	小テスト		

	100%	平常点	ほぼ毎回Yestudy上で設けるフォーラムへの書き込みが最も大きな部分を占める。課題授業の完成度、そして各種オンラインアクティビティ(フィードバック、フォーラム、小テストなど)への参加と成果も評価の対象となる。
教科書/テキスト	特に指定しない。		
参考書	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 佐藤慶幸, 2008, 『人間社会回復のために—現代市民社会論』, 学文社, ISBN10: 4762018147</li> <li>2. 小熊英二, 2012, 『社会を変えるには』, 講談社現代新書, ISBN-10: 4062881683</li> <li>3. 坂本治也編, 2017, 『市民社会論—理論と実証の最前線』, 法律文化社, ISBN-10: 4589038137</li> <li>4. 植村邦彦著, 2010, 『市民社会とは何か—基本概念の系譜』, 平凡社新書, ISBN10: 4582855598</li> <li>5. 李 妍焱, 2018, 『下から構築される中国—「中国的市民社会」のリアリティ』, 明石書店, ISBN-10: 4750346365</li> <li>6. 早瀬昇, 2018, 『「参加の力」が創る共生社会—市民の共感・主体性をどう醸成するか』, ミネルヴァ書房, ISBN-10: 4623083381</li> </ol>		
【必須】 学生による授業アンケート結果等による授業内容・方法の改善について	例年の授業評価アンケートでは、板書に対する要望以外特に不満はないように思うが、今年度はオンラインツールを多用する授業になると思うので、受講生から密にフィードバックをもらいながら授業を進めていきたい。		
関連リンク			
実務経験がある教員による授業科目	合計6回程度、実務経験のある外部講師にゲストスピーカーとしてお話をいただく予定。		
アクティブラーニング型の授業科目	授業支援システムYestudyをフルに活用したアクティブな授業を目指す。		